

Rotary



2020-21年度 国際ロータリー第2690地区 第8・第9グループ合同

INTERCITY MEETING

研修テキスト

2021.3.27(土)

参加クラブ

第8グループ

第9グループ

真庭ロータリークラブ
美作ロータリークラブ
津山ロータリークラブ
津山西ロータリークラブ
津山中央ロータリークラブ
津山後楽園ロータリークラブ

備前ロータリークラブ
岡山北西ロータリークラブ
岡山東ロータリークラブ
岡山北西ロータリークラブ
岡山後楽園ロータリークラブ
岡山東ロータリークラブ

(ホスト)

(ホスト)



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. **真実**かどうか
2. **みんなに公平**か
3. **好意と友情**を深めるか
4. **みんなのためになる**かどうか

※アイ・エム（IM）… 都市連合会 Intercity Meeting のこと。

近隣都市数クラブが集まって親睦・情報教育その他の目的で行われている数種のロータリー会合を総称する用語。一会合の固有名詞ではないがIMと略称され最近よく用いられている。従来の都市連合ゼネラル・フォーラム(IGF)も厳密にはIMの中の一会合であるが、最近広義のIMの名称で開催されているところが多い。決議や決定はない。

(出典 ロータリー情報研究会 編集・発行 「ロータリー情報ハンドブック2020」)

Rotary Song

❖ 奉仕の理想 ❖

奉仕の理想に 集^{つど}いし友よ
御国に捧げん 我等^{なりわい}の業
望むは世界の 久^く遠^{おん}の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永^と久^わに栄えよ 我等のロータリー

❖ 手に手つないで ❖

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
一つ心に おおロータリアン
おおロータリアン
2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
世界と共に おおロータリアン
おおロータリアン

2020-21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities



国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

Holger Knaack

《 所属 RC 》

Herzogtum Lauenburg-Mölln RC

《 略 歴 》

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。

125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルグ市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambekゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。

《ロータリー歴》

1992年にロータリーに入会。

ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。

現在は、恒久基金/大口寄付アドバイザーを務める。スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会員としてロータリー財団を支援。

国際ロータリー第2690地区 ガバナープロフィール



(生年月日)
1943年(昭和18年)
10月23日生

(職業分類)
民事弁護士

きく ち とし お
菊 池 捷 男 (岡山西RC)

《略 歴》

1967年 3月 岡山大学法文学部法学科 卒業
1970年 4月 弁護士登録(岡山弁護士会所属)
1971年 6月 菊池捷男法律事務所開所
2013年 5月 弁護士法人菊池綜合法律事務所設立 現在に至る

《ロータリー歴》

1982年7月12日 岡山西ロータリークラブ入会
1989-90年度 岡山西ロータリークラブ幹事
2002-03年度 岡山西ロータリークラブ第42代会長
2006-07年度 第11グループガバナー補佐
2018-19年度 地区ガバナーノミネー
2019-20年度 地区ガバナーエレクト

ベネファクター
メジャードナー(レベル1)
ポール・ハリス・ソサエティ会員
第10回米山功労者メジャードナー

《賞 罰》

2019年 5月 旭日小 綬章 受章

きよくじつしょうじゆしょう

旭日小 綬章 受章

国際ロータリー第2690地区 ガバナー補佐プロフィール



第8グループ

ひろ の まなぶ
廣野 學 (津山中央RC)

(生年月日) 1946年(昭和21年)5月14日生
(勤務先・役職) 株式会社三勝 代表取締役
(職業分類) 印刷業

《ロータリー歴》

1989年5月1日 津山中央ロータリークラブ入会
2005-06年度 第17代会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー4回
第2回米山功労者



第9グループ

かわもと へいざん
川本 平山 (岡山後楽園RC)

(生年月日) 1944年(昭和19年)9月10日生
(勤務先・役職) 岡山大学 Alumni(全学同窓会) 理事
(職業分類) 化学研究

《ロータリー歴》

1989年6月1日 岡山後楽園ロータリークラブ入会
2004-05年度 第17代会長

ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー5回
第5回米山功労者マルチプル
ポール・ハリス・ソサエティ会員

目次

プログラム(計画)		1
来賓・役員(計画)		2
IM開催によせて	地区ガバナー 菊池 捷男(岡山西RC)	3
開会あいさつ	第9グループ ガバナー補佐 川本 平山(岡山後楽園RC)	4
ホストクラブ会長あいさつ	第9グループ ホストクラブ会長 内山 満義(岡山後楽園RC)	5
基調講演「私と国際奉仕」	パストガバナー 延原 正(岡山南RC)	6
お礼のことば	第9グループ ガバナー補佐 川本 平山(岡山後楽園RC)	9
事例発表 テーマ:「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動		
新型コロナへの取り組み事例	会長 廣岡 順(真庭RC)	10
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動について	会長 中山 道雄(美作RC)	12
津山ロータリークラブにおける新型コロナウイルスへの対応について	幹事 飯綱 浩二(津山RC)	13
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動について	幹事 佐藤みゆき(津山西RC)	14
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動	幹事 有本 次男(津山中央RC)	15
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動	会長 中村 誠志(備前RC)	17
牛窓海岸清掃報告書	環境保全委員長 丹下 健三(岡山RC)	18
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動	青少年奉仕委員長 平井 真也(岡山東RC)	20
「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動	幹事 鈴木 一生(岡山北西RC)	22
コロナ禍におけるロータリー活動	前幹事 藤原 學(岡山後楽園RC)	24
事例発表講評	パストガバナー 末長 範彦(岡山RC)	26
お礼のあいさつ	第8グループ ホストクラブ会長 前原 知明(津山中央RC)	27
次期ガバナー補佐あいさつ	第8グループ 次期ガバナー補佐 長谷川隆嗣(津山RC)	28
	第9グループ 次期ガバナー補佐 堀川 辰也(岡山北西RC)	29
閉会あいさつ	第8グループ ガバナー補佐 廣野 學(津山中央RC)	30
「紙面IM」を終えて	第9グループ IM実行委員長 丸山 夏樹(岡山後楽園RC)	31
参加クラブ・登録者名簿		32

2020-21年度の第8・第9グループ合同IMは、新型コロナウイルスの感染症拡大に鑑みロータリアンが一堂に会する対面方式の会議は中止し、「IM研修テキスト」による「紙面IM」として開催することになりました。

なお、当初は『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』をテーマに、2021年3月27日(土)岡山プラザホテル 鶴鳴の間にて開催を計画しておりました。計画におけるプログラム案は次のとおりでした。

第8・第9グループ合同インターシティ・ミーティング

プログラム(案)

12:00~12:30 登録受付

12:30~13:00 開会式

開会宣言(点鐘)
国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
来賓・役員紹介
参加クラブ紹介
開会あいさつ
歓迎あいさつ
ガバナーあいさつ

13:15~14:05 基調講演

講師 パストガバナー 延原 正
演題 「私と国際奉仕」

14:20~15:55 特別講演

講師 一般財団法人 産業人材研修センター理事長 小長 啓一
演題 「リーダーの資格と生き様
～田中角栄総理、通産大臣に秘書官として仕えて～」

16:10~17:00 パネルディスカッション

テーマ 「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動

17:15~17:45 閉会式

ガバナー所感
次期ガバナー補佐紹介
次期ガバナー補佐あいさつ
閉会あいさつ
閉会宣言(点鐘)

出席を依頼した来賓及び役員は、次のとおりでした。

来 賓

パストガバナー	森	嵩	正	(津山ロータリークラブ)
パストガバナー	鳥	居	滋	(岡山東ロータリークラブ)
パストガバナー	森	本	信一	(津山ロータリークラブ)
パストガバナー	末	長	範彦	(岡山ロータリークラブ)
地区ガバナーノミニ	友	末	誠夫	(津山ロータリークラブ)
第8グループ次期ガバナー補佐	長	谷川	隆嗣	(津山ロータリークラブ)
第9グループ次期ガバナー補佐	堀	川	辰也	(岡山北西ロータリークラブ)

役 員

地区ガバナー	菊	池	捷	男	(岡山西ロータリークラブ)
地区代表幹事	末	吉	誠	一	(岡山西ロータリークラブ)
第8グループガバナー補佐	廣	野		學	(津山中央ロータリークラブ)
第9グループガバナー補佐	川	本	平	山	(岡山後楽園ロータリークラブ)
第8グループホストクラブ会長	前	原	知	明	(津山中央ロータリークラブ)
第9グループホストクラブ会長	内	山	満	義	(岡山後楽園ロータリークラブ)
第8グループIM実行委員長	有	本		稔	(津山中央ロータリークラブ)
第9グループIM実行委員長	丸	山	夏	樹	(岡山後楽園ロータリークラブ)



I M開催によせて

2020-21年度
国際ロータリー第2690地区

地区ガバナー 菊池捷男
(岡山西RC)

本来なら、皆さま、全員、一堂に会してのIntercity Meeting (I M)となるどころ、コロナ禍の中、大事をとって「紙面I M」にいたしました。ご了解賜りたく存じます。

さて、今年度の国際ロータリー会長ホルガー・クナークさんは、私たちロータリアンに“together”が大切だと訴えられました。今回のI Mもその“together”の一つだと思います。

直接、目に見た姿が、その人の姿とは限らず、直接、耳に入った言葉が、その人の言葉とは限りません。時には、肉声を聴かず、目に見ずとも、書面を通して知ること活躍の方が、想像力が働いて、皆さまのお姿やお声が、より大きく見え、かつ、より大きく聞こえるということもあり得ます。

私が最も尊敬するパストガバナーのお一人の延原正さまの基調講演「私と国際奉仕」の内容の広さ、深さ、高さに、また、各ロータリークラブの事例報告の緻密さ、豊かさに、ロータリアンの方々の奉仕の実践内容が理解でき、身震いするような感動を覚えました。これもその一例だと思います。

ところで、皆さまは、ロータリーの古典的名著とされているガイ・ガンディカー(Guy Gundaker)の「A Talking Knowledge of Rotary」(小堀憲助邦訳「ロータリー通解」)をご存じと思います。

そのガイ・ガンディカーは、同書で、「ロータリアンの種類はただ一つ、それは積極的に活動を行なうロータリアンActive Rotarianである。」と言い、「積極的な活動」の例としては、

1. 自己の企業又は専門職業において、ロータリーの説く高度な職業倫理と多角的な奉仕を実践できる者
2. クラブ内部の活動に、積極的に参加し、クラブの会合で提起されるすべての問題について積極的に討論に加わり、かつ自己の企業又は専門職業について話をするのできる者
3. 地域社会の団体、公共の団体、商業上の団体や、慈善団体において積極的な行動をとることのできる者

などを挙げております。

その観点から拝察いたしますと、今回の「紙面I M」にご参加の皆さまは、まさしくActive Rotarianであると思います。

皆さまには、今後とも、ロータリーのため、また、皆さまの奉仕を待っている人たちのために、ご活躍なさいますことを期待いたしております。ロータリーは、まことにロータリアンとロータリアンの親睦を通じての人的成長と奉仕をすることによる真の喜びを得させてくれる、機会の扉を開いてくれているのです。



開会あいさつ

2020-21年度
国際ロータリー第2690地区 第9グループ

ガバナー補佐 川本平山
(岡山後楽園RC)

本日は、国際ロータリー第2690地区菊池捷男ガバナーのご臨席の下に、ご来賓としてパストガバナー、地区ガバナーノミニ、次期ガバナー補佐の皆さまのご出席を賜り、「紙面IM」として、インターシティ・ミーティングを開催する運びとなりました。

インターシティ・ミーティングは、申すまでもなく、地域のロータリアンの研修を目的とし、親睦を深める中で奉仕への活力を養う場であり、IMの開催と継承は地区および地域のロータリー活動において大変重要な課題であります。

今日の新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況の中で、ロータリアンの研修と親睦を目的とした大規模な会議の開催が不可能となり、オンライン形式でのIMの開催も受信環境の整備に大きな問題があることから、今年度は「ロータリアンの研修とIMの継承」に特化した形で、「紙面IM」として開催することといたしました。ロータリアンの皆さまには、「IM研修テキスト」をご活用いただき、研修をお願いいたします。未曾有のコロナ禍での状況をご賢察のうえご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

本日は、基調講演の講師として延原正パストガバナーをお迎えして「私と国際奉仕」の題目でご講演をいただきます。延原パストガバナーのアーチ・クラフ・ソサエティ会員(管理委員会サークル)、ポール・ハリス・ソサエティ会員、そして米山功労者メジャードナー(第178回)に代表されます卓越した国際奉仕に対するご貢献の熱い思いはどこから生まれたのか?今回のご講演を通してお聞かせいただけるものと思います。

さて、昨年1月に端を発した新型コロナウイルス感染症のため、私たちのロータリー活動は大きく制限され、各クラブにおいてはその対応に苦慮しながら知恵を出し、助け合いながらこの難局にあたってきました。この中で培われた貴重な経験は、全会員とともに共有して今後のロータリー活動に資する「ロータリーの財産」であります。このような観点から、今回の合同IMのテーマを『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』として、パネルディスカッションで第8・第9グループの全てのクラブから活動事例を報告していただくこととしました。多くの指針を頂けるものと期待しています。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、ロータリーは間もなく新しい年度を迎えます。各クラブでの貴重な活動事例を取り纏めて次のリーダーにバトンを渡し、新しい年度の活動の一助となることを願っています。このような思いを込めて、第8グループ長谷川隆嗣次期ガバナー補佐(津山RC)、そして第9グループ堀川辰也次期ガバナー補佐(岡山北西RC)を「IM研修テキスト」の紙面上でご紹介させていただき、熱いエールをお贈りして次年度に継承し、今年度の合同IMとさせていただきます。会員の皆さまにとって、この「紙面IM」が有意義な研修の場となりますことを切に願ってあいさつとさせていただきます。



ホストクラブ会長あいさつ

2020-21年度
国際ロータリー第2690地区 第9グループ

ホストクラブ会長 **内山満義**
(岡山後楽園RC)

このたびの新型コロナウイルス感染拡大においては、われわれの日々の生活だけでなく、経済の動きに対しても大きな影響を与えております。その中でロータリアンの皆さまにおかれましても、感染拡大防止に日々努力されていることと存じます。

さて、2020-21年度国際ロータリー第2690地区第8・第9グループ「紙面IM」の開催に参加、協力いただきましてありがとうございます。ホストクラブを代表いたしまして心より歓迎申しあげます。

2020-21年度国際ロータリーテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、第2690地区菊池捷男ガバナーのスローガンは多様性を受け入れ、寛容の精神をもって、「こころの扉を開こう」、第8・第9グループ「合同IM」の開催テーマは『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』です。

また、「合同IM」は第8グループ廣野ガバナー補佐、第9グループ川本ガバナー補佐のご指導により、津山中央ロータリークラブ有本実行委員長、岡山後楽園ロータリークラブ丸山実行委員長を中心に両クラブで何度もZoom会議で打ち合わせいたしました。緊急事態宣言に準ずる状況の中でロータリアンの研修と親睦を目的とした会議が不可能になり、オンライン形式実施も考えましたが、結果「紙面IM」開催となりました。

ロータリアンの寛容の精神をもって、お許しをお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の収束をお祈りし、一日も早く本来のロータリー活動が復活することを願ひ、簡単ですが「紙面IM」のあいさつとさせていただきます。